



第14回 長崎大学病院 ICLSコース



長崎大学病院は、救急医療教育の一環として、全研修医の日本救急医学会認定『ICLSアシスタントインストラクター』資格取得を目指しています！

平成29年2月11日(土)開催

共催: 長崎シミュレーション教育研究会
長崎大学病院 外来・救急医療教育室
シミュレーションセンター
救命救急センター
協力: 日本光電九州株式会社

コースの目的

本コースは、初期研修医の救命医療における知識と技術の向上を目的として開催した。

ICLSとは

日本救急医学会が主催、または「コース認定」をして行う、医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。心臓血管系の緊急病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標とした、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。身につける行動の目標は以下の通りです。

- 蘇生を始める必要性を判断でき、行動に移すことができる
- BLS(一次救命処置)に習熟する
- AED(自動体外式除細動器)を安全に操作できる
- 心停止時の4つの心電図波形を診断できる
- 除細動の適応を判断できる
- 電気ショックを安全かつ確実に行なうことができる
- 状況と自分の技能に応じた気道管理法を選択し実施できる
- 気道が確実に確保できているかどうかを判断できる
- 状況に応じて適切な薬剤を適切な方法で投与できる
- 治療可能な心停止の原因を知り、原因検索を行動にできる

実施結果

受講生17名が当コースを修了し、ICLSアシスタントインストラクターの資格を得た。

また、スタッフ(コースディレクター2名、インストラクター5名、アシスタントインストラクター7名)計12名で指導を行い、2ブースを問題なく運営した。

また、スタッフは医師だけでなく、看護師、薬剤師、救命士、歯科医師とコメディカルからの参加も多かった。

※スタッフ詳細はP.4



<実施内容>

開催日時	平成29年2月11日（土） 9：20～17：00
受講者数	11名
対 象	初期研修医 5名、 看護師 6名
場 所	長崎大学病院 シミュレーションセンター

<スケジュール>

		グループ(1)	グループ(2)
09:00～09:20	0:20	受 付	
09:20～09:30	0:10	オリエンテーション	
09:30～10:20	0:50	BLS+AED	モニター
10:20～10:30	0:10	休憩・移動	
10:30～11:20	0:50	気道管理	BLS+AED
11:20～11:30	0:10	休憩・移動	
11:30～12:20	0:50	モニター	気道管理
12:20～13:10	0:50	昼 食	
13:10～13:15	0:05	BLS・ALSデモンストレーション	
13:15～14:25	1:10	チーム蘇生	チーム蘇生
		VF/VT	VF/VT
14:25～14:35	0:10	休憩・移動	
14:35～15:20	0:45	non VF/VT	non VF/VT
15:20～15:35	0:15	休 憩	
15:35～16:35	1:00	メガコード	メガコード
16：35～16：45	0:10	移動	
16:45～17:00	0:15	終了式・修了証授与式	

◆アンケート◆ 受講者の声

- ・最初の10分間の行動に対する考えが変わった。
- ・受講前よりも素早く対応できるようになった。初期対応について思い出せるようになった。
- ・抗不整脈薬の投薬を実際に使用したことがなかったが、今回の講習を受けたことで、抗不整脈薬も怖がらずに使えると思います。
- ・CPA時の原因検索についてより意識するようになった。
- ・CPA患者への基本的なアプローチが学べ、対応を試してみようという気持ちになった。
- ・一定のアルゴリズムに従って、行動することが出来るようになった。
- ・急変時、AED適応など様々な症例を経験することで、知識が整理できたと思います。
- ・研修医で指示を出すことはあまりないので、今回の講習会で指示を出しながら鑑別を考える難しさを知った。
- ・今まで理解できないところが明らかになった。普段の臨床では除細動器を扱ったり、体験しないため貴重な経験となりました。
- ・実際に受けてみて、指示を的確に出すことの難しさが分かりました。受ける前よりも、自分が何を出来るか考えて動けるようになったと思います。
- ・まだまだ対応方法も不十分であることを改めて実感したので、今後も引き続き、身に付けて行くようにしたいです。
- ・実臨床に近いシナリオで役に立つと思います。
- ・とても有意義な講習会でした。2年目は市中病院なので今日の経験を生かしたいと思っています。
- ・1つ1つ丁寧に指示頂きありがとうございました。しっかり復習し、忘れないよう繰り返し実践の練習をしたいと思っています。

◆アンケート◆ スタッフの声

1) 受講者の態度・意欲はどうだったか？

- ・真剣だった。
- ・非常によかったです。2
- ・今回は静かな気がしました。
- ・良かったです。4
- ・態度の悪い人はいなかったです。

2) 予備知識（予習含む）はどうだったか？

- ・予習にはムラがあった。
- ・差があった。研修医と歯科医師は別として。
- ・歯科は知らないことなので…。
- ・事前に予習していたと感じました。
- ・バックグラウンドによる差はありますが、大きな問題はなかったです。
- ・だいたいできていたと思います。3

3) ディレクター、インストラクター、アシスタント、チューターの指導はどうだったか？

- ・説明の仕方など分かりやすい話し方をされていて、（現場の事も入れながら）勉強になりました。
- ・勉強されていて、スムーズな進行でした。
- ・教えている事が良かったです。
- ・積極的でした。
- ・分かりやすく、丁寧でした。
- ・素晴らしかったです。
- ・指導法等参考になりました。
- ・アシスタントは、フィードバックに慣れている人とまだの人もいます。
- ・控えめな人もいたので、もっと積極的でも良いと思います。
- ・素晴らしかったです。
- ・協力的でした。

4) 今後について、ひとこと

- ・続けましょう。
- ・広まると良いと思います。
- ・また参加したいです。ありがとうございました。
- ・次回も必ず参加します。
- ・また、時々参加させて頂きたいです。
- ・引き続きよろしくお願いします。

●改善点●

- ・受講生の休憩用のいすを用意しておくとうよかったと思いました。
- ・ドタキャンの対策を。
- ・人形の自発呼吸が出なかった。

準備する資機材(2ブース)

資機材名	必要数	備考
ハートシム、操作用PC	3	
レサシアン	4	
バックバルブマスク	2	
AED	4	フィリップス
気道管理トレーナー	2	
モニター付き除細動器	3	単相性(予備) 1 二相性 2
気道管理ボックス	2	各ブースに1箱ずつ
注射器10ml		
バイトブロック		
吸引チューブ		
エアウエイ		
経鼻エアウエイ		
聴診器		
ポケットマスク		
喉頭鏡(4.0)		
喉頭鏡柄		
チューブ固定具		
酸素マスク		
酸素カニュラ		
挿管チューブ		
スタイレット		
CO2チェッカー		
テープ		
点滴	2	各ブースに1つずつ
点滴スタンド	2	各ブースに1つずつ
ワゴン	2	
聴診器	2	持ってきてもらう
アルコール綿	多目	
ホワイトボード	4	
ホワイトボードマーカー4色	12	
ストップウォッチ	4	
メトロノーム	2	
延長コード	4	



長崎大学病院
外来・救急医療教育室
地域医療支援センター
シミュレーションセンター
〒852-8501
長崎市坂本1丁目7番1号
電話 (095) 819-7346
FAX (095) 819-7379